

報道関係各位

SVOD・TVOD・EST・ライブ課金を含めた有料の動画配信市場規模は**2025年に前年比 111.8%の 6644 億円と推計****2035年には 7400 億円、2025年比で 111.4%と予測**

～「2026-2035 映像市場 10 年予測」レポート発行～

映像メディア総合研究所合同会社（代表：四方田浩一）は、テレビ放送、映画興行、パッケージソフト、動画配信など、すべての映像コンテンツ視聴市場を対象に、2035年までの予測を立て、12月1日にレポートを発行致しました。

■本レポートについて

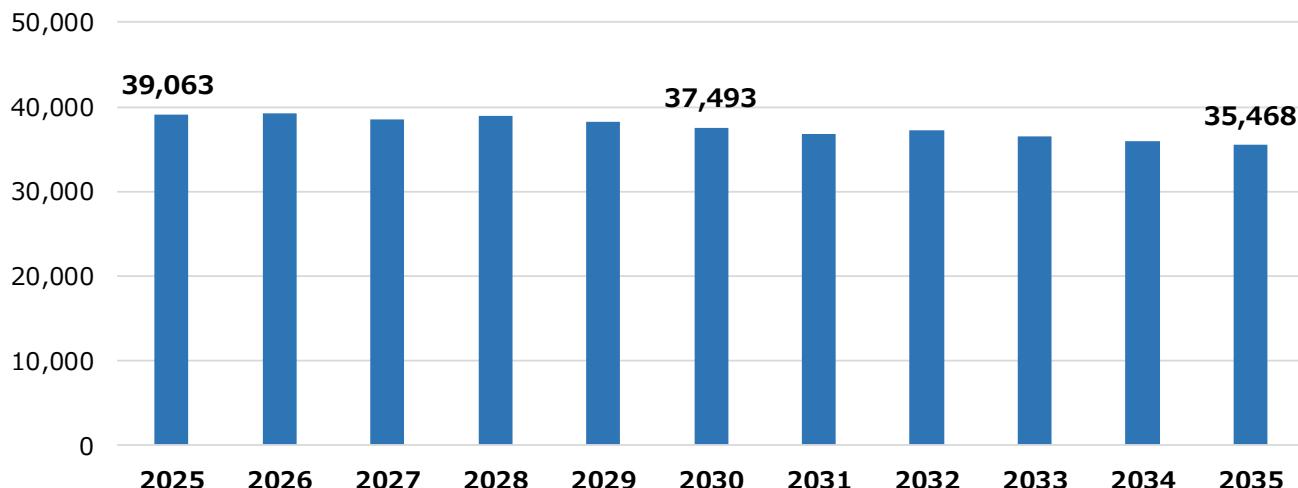
本レポートは、テレビ放送、映画館、パッケージソフト、動画配信など、有料サービス・無料サービス＜広告モデル＞を含めた、すべての映像視聴メディアの2035年までの市場規模予測です。各メディア業界が発表している2024年までの市場規模実績・推計、各省庁・調査機関・調査会社が公表している市場推計、弊社マーケットリサーチ結果を基に、人口推移、ウインドウの変化、新形態のサービスなどを考慮し、コンテンツ権利者、メディア・流通事業者などへの綿密な取材を実施し、2035年までの詳細なシナリオを構築、予測値を導き出しました。

また、それぞれの映像メディア市場を個別に予測するとともに、有料ビジネス・無料＜広告＞ビジネス別、ビジネスウンドウ別、既存ビジネス・動画配信ビジネス別など、さまざまなセグメントでの集計により、映像メディア市場全体における各市場の位置づけを明確にしました。

なお、音楽・舞台などのリアルライブ市場、映画館でのODSライブ（※1）市場、ライブ配信＜課金＞市場をまとめた「ライブ市場」についても予測の対象としています。本レポートは、映像コンテンツの権利者、映像メディア・サービス事業者、そして映像コンテンツ市場の動向にご興味、ご関心のある方々にとって市場を予測する上での一助となり、今後の事業方針策定への材料となることを目的とします。

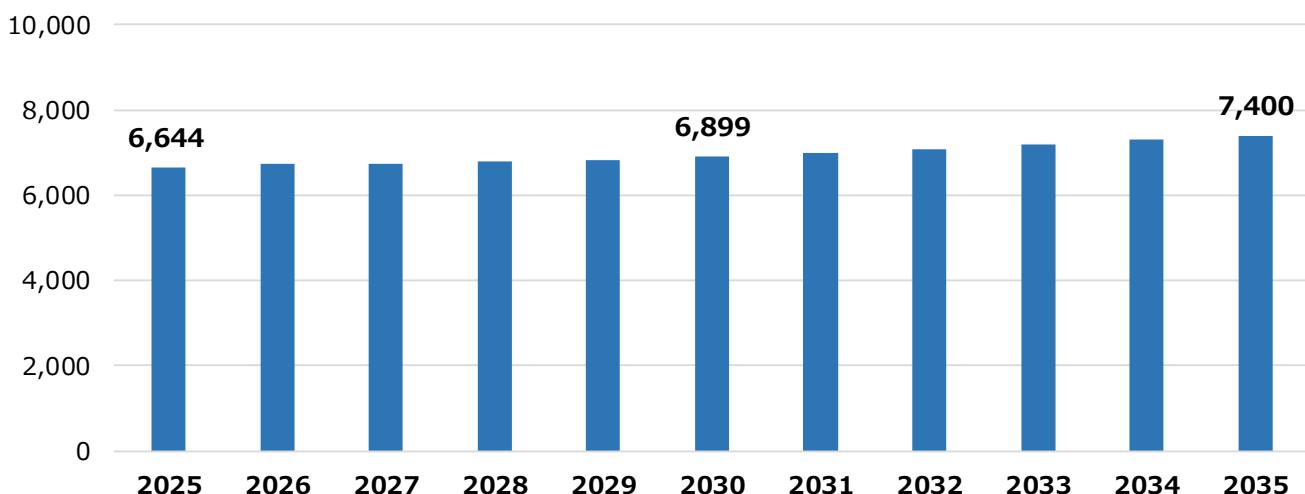
■市場予測レポート（抜粋）

○テレビ放送、映画館、パッケージソフト、動画配信を合わせたすべての映像メディア市場金額（有料メディア+広告メディア）は、2025年に前年比101.6%となる3兆9063億円と推計。5年後の2030年には3兆7493億円（2025年比96.0%）、10年後の2035年には3兆5468億円（同90.8%）へ縮小すると予測した。映像メディア市場は動画配信メディアの成長をドライブにこれまで拡大を続けてきたが、2026年がピークとなり、その後はテレビ放送広告、有料テレビ放送、パッケージソフトの減少金額を動画配信メディアの増加金額が上回ることができず、また、人口の減少も伴い市場は縮小する見通しだ。2025年から2035年にかけての年平均成長率はマイナス1.0%と予測した【図1】。

【図1】映像市場全体の推計・予測（億円）

○SVOD、TVOD、EST、ライブ課金（※2）を合わせた有料の動画配信メディア市場金額（AVOD、縦型ショートドラマを除く）は、2025年に前年比111.8%となる6644億円と推計。5年後の2030年には6899億円（2025年比103.8%）、10年後の2035年には7400億円（同111.4%）へ拡大すると予測。有料動画配信メディア市場はこれまでSVODの急成長に伴い市場が大幅に拡大し続けてきたが、SVODの成長が鈍化し2027年にピークを迎えることで、その後はゆるやかな成長となる見通しだ。2025年から2035年にかけての年平均成長率は1.1%と予測した【図2】。

【図2】有料動画配信市場の推計・予測（億円）



【レポート概要】

- 目的：各映像メディア市場、および映像市場全体の長期予測の提示
- 予測対象メディア・サービス：
 - [有料映像市場] 有料テレビ放送（衛星放送、ケーブルテレビ）、映画館（映画興行、ODSライブ※1）、パッケージソフト（セル、レンタル）、
有料動画配信（定額制<SVOD>、都度課金レンタル制<TVOD>、デジタルセル<EST>、ライブ課金※2）
 - [無料映像（広告）市場] テレビ放送広告、動画広告<AVOD>（インストリーミング広告のみ）
- 調査・制作期間：2025年8月～11月15日
- 発行元：映像メディア総合研究所合同会社

（※1）ODSライブ…映画館での音楽・舞台などのライブストリーミング上映

（※2）ライブ課金…音楽・スポーツなどのライブ中継を都度課金で視聴する配信サービス

<本件に関するお問い合わせ先>
映像メディア総合研究所合同会社
mail : info@eizomedia.jp